

資料室



HOME | 資料室 | 労働者福祉・共済 | ユニオントラベル | (株) 静岡ユニオントラベルの目的と歴史

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

協同組合

労福協

労働金庫

全労済

県生協連

勤労者信用基金協会

年金福祉協会

福祉基金協会

ユニオントラベル

教育カリキュラム

[▶ キーワード検索はこちら](#)

(株) 静岡ユニオントラベルの目的と歴史

1. 設立の目的

静岡県労働者福祉協議会（以下 県労福協）が実施して、1987年1月に集約された「1万人アンケート」の第1位は、家族で楽しめる「保養施設」や「スポーツ施設」の建設希望で全体の40%を占めました。次いで多かったのが「旅行」に関する要望でした。

そこで、県労福協は第25回定期大会（1987年）において、2つの新事業設立の方針を確認しました。

1つ目は、福祉事業部（野外総合研修センター構想）で2つ目が旅行事業部の設立でした。

より豊かな社会生活を営む為には、健全な余暇利用が大切である。これら勤労者のニーズに応え、その役割を発揮していくことを目的に「旅行事業部＝(株) 静岡ユニオントラベル」は1989年7月に設立がされました。

そして、2001年12月に「旅行に関する損害保険」や日々の生活に生じるリスクをカバーする「損害保険」の取扱いを目的とした「保険事業部」を設置して保険業務を開始して今日に至っています。

2. 事業の沿革（歴史）

- 1989年7月：勤労者の余暇活動をサポートする目的に「株式会社」として設立された。
円滑な事業運営を考慮して「株式会社」の形態としたが、県労福協を構成する福祉事業団体の一員としてその精神は協同組合原則に沿ったものとした。
- 1991年1月：静岡県庁に「県庁営業所」を開設。回数券・一般乗車券・宿泊施設の予約等の事業を開始した。
- 1991年度以降は、各地区労福協、グリーン友の会や退職者福祉協議会、労金本支店の慰安旅行や年金ツアー等々の利用が拡大する。
- 1995年6月：90株の増資を行い、総株数200株となる。（資本金：1千万円）
- 1997年8月：UCギフトカードの販売を開始する。
- 2000年4月：事務所を静岡市葵区黒金町「勤労者総合会館」から同区南町の「静岡労働会館」へ移転する。
- 2001年12月：保険事業部を設置し、損保ジャパンの代理店として保険業務を開始する。
- 2003年3月：団体宿泊旅行等の激減により、静岡県庁の「県庁営業所」を閉鎖する。
- 2005年9月：ホームページを開設する。12月：QUOカードの販売を開始する。
- 2006年8月：ジェフグルメカードの販売を開始する。
- 2010年度：法人化した（社）静岡県労働者福祉協議会が正式に単独の株主となる。
- 2011年6月：「内部体制の整備・強化」と「収益基盤の拡大・強化」を2本柱とした「事業活動の点検」が2ヶ年計画でスタートする。
- 2012年1月：ホームページをリニューアルして、WEBサイトを利用したオンラインショップを開始する

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです

>>一覧へ戻る

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.